

熊本県がん対策推進計画に基づく 取組み状況等

(令和3年度(2021年度)熊本県がん対策推進会議資料)

(1) がんの一次予防（がんにかからないようにする）

①生涯を通じた健康づくりの推進

○食生活や運動習慣の改善

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 令和2年度から、糖尿病等の生活習慣病を予防し健康な生活を維持するため、野菜摂取の促進を促す「野菜くまもり運動」を開始した。また、くまもと健康づくり応援店事業については、令和元年度末に登録数が628店舗となり、目標達成したこと等から令和3年度から「くま食健康マイスター店（健康に配慮したメニューや情報を提供したりする飲食店等で、熊本県から指定された店舗。）事業」を開始し、健康無関心層を含めた県民が健康づくりを実践しやすい食環境整備を推進した。
- ・ 健康寿命を伸ばすための6つのアクション（運動、食生活、禁煙、健診・がん検診受診、歯と口腔ケア、休養）に取り組む「くまもとスマートライフプロジェクト」の普及を目的として、テレビ、新聞等による啓発を実施するとともに、同プロジェクト応援団の登録を促進し、登録数は1,623団体（令和4年1月末時点）に増加した。
- ・ 日常生活での運動習慣の定着を図るため、くまもとスマートライフアプリ（歩数計アプリ）を使ったウォーキングキャンペーンを実施し、アプリ登録者は25,163人（令和4年1月末時点、令和3年度増加数5,334人）に増加した。

【今後の予定】

- ・ 飲食店関係業者、民間企業・団体等と連携した、くま食健康マイスター店指定拡大及び野菜くまもり運動により、健康無関心層を含めた県民が健康づくりを実践しやすい食環境整備を推進していく。
- ・ 引き続き、広報やイベントの実施を通して、引き続き6つのアクションの重要性についての県民への周知及び運動習慣の定着を図る。

【参考資料】

くまもとスマートライフプロジェクト応援団数の推移

（単位：団体）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 (R4.1月末)
登録数	20	139	181	960	1,155	1,316	1,447	1,623

くまもん歩数計アプリ登録者の推移					(単位:人)
年度	2017	2018	2019	2020	2021 (R4.1月末)
登録者数	3,472	6,996	14,855	19,819	25,163

○禁煙支援や受動喫煙防止のための環境整備

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 世界禁煙デー（5/31）と禁煙週間（5/31～6/6）に合わせ、県庁及び保健所においてたばこの害に関する展示を実施した。また、県ホームページにおいてたばこの害や禁煙外来等に関する情報提供を行った。
- ・ 改正健康増進法の全面施行に伴う受動喫煙防止対策の周知のため、リーフレットの配布や各団体への説明、飲食店等の巡回、施設への助言・指導を行った。

【今後の予定】

- ・ 引き続き、たばこの害に関する情報発信や健康増進法に基づく受動喫煙対策についての周知を行うとともに、施設からの相談等に対し、助言・指導を行う。

②ウイルスや細菌感染に起因するがん予防対策

○感染予防に関する普及啓発

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 子宮頸がん予防ワクチンの定期接種に関し、個別通知により情報提供するよう市町村に対し文書で依頼するとともに、令和3年度は未実施の11市町村を個別に訪問し働きかけを行った。
- ・ また、令和4年度からの積極的勧奨再開及びキャッチアップ接種実施について、県のホームページにより周知を図った。

【今後の予定】

- ・ 県のホームページや広報媒体を活用した周知啓発を継続する。

○H T L V－1抗体検査・相談事業の実施

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 県保健所において、検査希望者に対しH T L V－1に関する事前説明を十分に行ったうえで、無料・匿名でH T L V－1抗体検査及び相談を行った。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○H T L V－1母子感染対策の推進

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 令和2年度は令和2年5～6月、令和3年度は令和3年5～6月にかけて、県内の産婦人科医療機関のうち、分娩及び妊婦健診取扱医療機関62機関を対象に、「妊婦健診におけるH T L V－1抗体検査に関するアンケート調査」を実施し、結果について周知を行った。

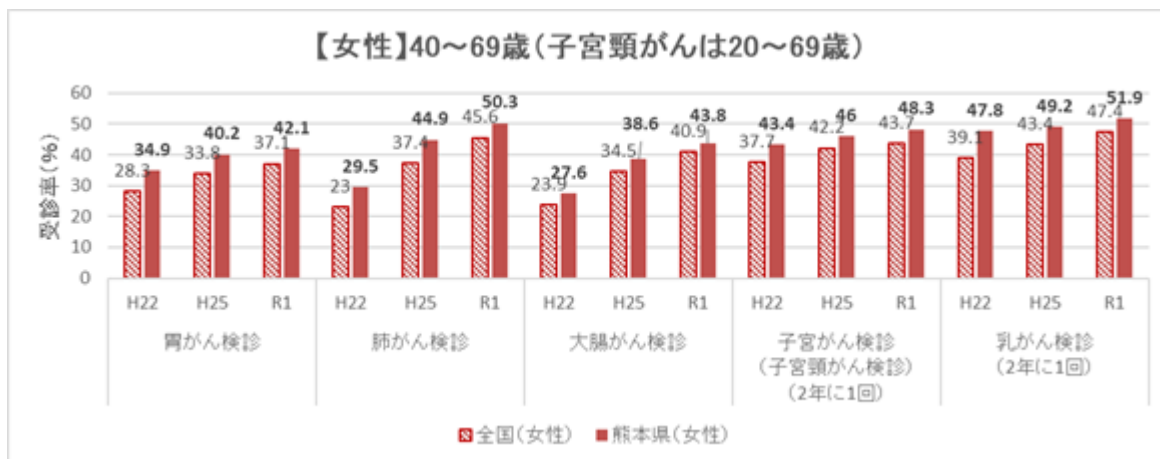
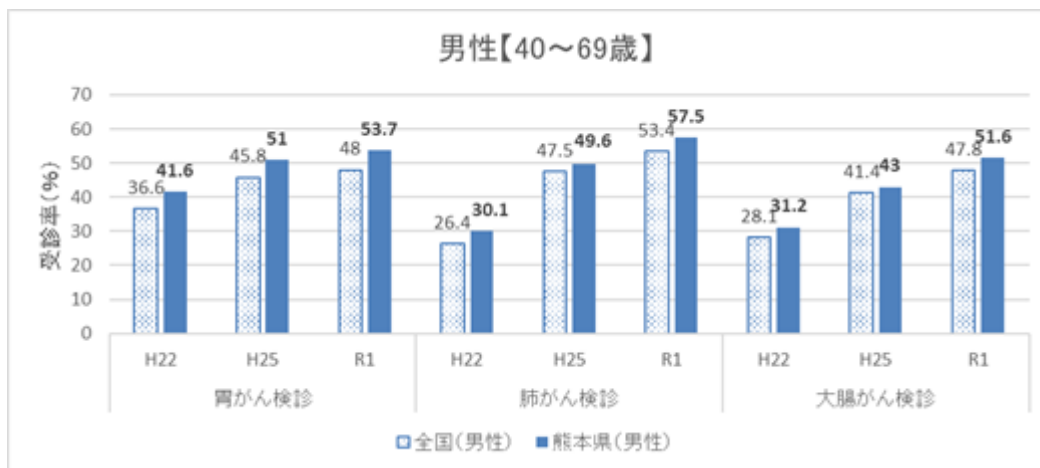
【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。
- ・ 令和4年2月に熊本県H T L V－1母子感染対策協議会を開催（書面）した。

(2) がんの二次予防（がんの早期発見、がん検診）

①がん検診の受診率向上対策について

【がん検診受診率】 出典：「国民生活基礎調査」（厚生労働省）



○がん検診の普及啓発の推進

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

- ①くまもとスマートライフプロジェクトやがん予防対策連携企業との連携によるがん検診受診啓発
 - ・ 応援団の登録拡大やがん予防対策連携企業との連携による薬局や県民等へのチラシ配布等により受診率向上の普及啓発を実施した。
 - ・ 令和3年度のチラシは特に「がん検診は不要不急ではない」ことを強調し作成した。
- ②若い世代（大学生等）へのがん予防講演会
 - ・ 大学生を対象に婦人科がんに関する講演会を開催した。適切な生活習

慣の重要性とがん検診の啓発を実施。(1回)講演後のアンケートでは、ほぼすべての女性が「がん検診を受けようと思った」と回答。

③がん検診啓発イベントや県政テレビ、SNS等での普及啓発

- ・ がん検診受診啓発パネルの県庁地下展示、県政広報テレビ番組、YouTube等SNSを利用した動画配信等の受診啓発を実施。

④各保健所の取組み チラシ配布、コーナー設置等

- ・ がん検診受診率50%達成集中キャンペーン月間(10月)でのコーナー設置等を実施した。

【今後の予定】

- ・ 今後もスマートライフプロジェクト応援団やがん予防対策連携企業との連携による働き盛り世代のがん検診受診勧奨及び若い世代へのがん予防講演会、様々な機会を捉え、がん検診受診啓発に取り組む。啓発方法についても感染症の流行状況等環境の変化に沿った手段を検討する。

○受診しやすい検診体制の推進

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 特定健診とがん検診の同時実施に、45市町村全てが取り組んでいる。市町村がん検診の実施予定について取りまとめを行い、各医療保険者へ情報提供した。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○検診未受診者への受診勧奨の促進

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 市町村及び保健所の歯科保健、がん対策及び国保担当者を対象とした健康づくりに関する担当者研修会を企画し、令和4年2月の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、研修資料を市町村及び保健所に送付した。
- ・ がん検診の受診勧奨を目的に啓発チラシを作成し、県内の薬局に配布した。また、がん検診啓発動画を作成し、県政テレビ「くまモンスマイルジャンプ!」やYouTubeで公開した。

【今後の予定】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行状況をみながら、市町村及び保健所の担当者研修会の実施を検討するとともに、作成した資材を活用したがん検診の受診勧奨を今後も継続していく。

②がん検診の精度管理等について

○がん検診精密検査の受診率及び精度管理の向上

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

①「事業評価のためのがん検診チェックリスト」の活用

- ・ 県、市町村、検診機関において、「事業評価のためのがん検診チェックリスト」を活用した精度管理調査を実施。生活習慣病検診等管理指導部会で評価検討を行い、ホームページでの公表及び市町村・検診機関へのフィードバックを実施。（令和3年度は実施なし）

②精密検査受診率向上のための市町村ヒアリングの実施（5市町村）

- ・ 令和元年度にヒアリングを行った精検受診率が3年間許容値以下の2市町、子宮頸がん検診精検受診率が40%以下の3市町に対してヒアリングを実施。

《精密検査受診率の推移》

単位：%

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
胃がん	84.5	84.8	83.4	83.2	83.4	82.8	83.1	81.9
肺がん	85.5	85.7	80.7	85.8	85.1	79.6	84.2	80.1
大腸がん	76.8	78.0	77.3	78.5	78.2	73.9	78.0	79.2
子宮頸がん	71.7	76.2	76.1	77.0	77.5	74.1	82.7	85.1
乳がん	84.1	86.8	86.3	89.1	91.9	90.3	91.2	91.8

※目標値 各がん：90%以上 許容値：乳がん：80%以上、その他70%以上

③生活習慣病検診等管理指導部会の開催

- ・ がんによる死亡を減らすためのがん検診の3本柱（有効な検診、高い受診率、精度管理）の一つであるがん検診の精度管理を図るうえで、がん検診の評価等を行っている。（令和2、3年度は書面開催）

委員構成： 熊本県医師会、熊本県がん検診従事者（機関）認定協議会各部会（乳がん部会、子宮がん部会、胃がん・大腸がん部会、肺がん部会）及び事務局、がん診療連携協議会がん診断部会、放射線技師会、集団検診機関連絡会、熊本市、町村会、保健所長会

<p>④がん検診従事者（機関）認定協議会 各がん部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県医師会にて、各がん部会を開催、部会ごとに年1回研修会を開催。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○効果的ながん検診を実施するためのデータ収集・分析

<p>令和2・3年度の実績及び今後の予定</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「がん検診データ集」を作成し、市町村や集団検診機関に研修開催時に説明し配布。県や市町村のがん検診の状況や課題を共有。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、がん検診データ収集・分析を行うとともに、認定協議会と連携して、「事業評価のためのチェックリスト」を活用した精度管理調査の実施や管理指導部会を開催し、市町村や検診機関への精度管理向上への働きかけを行う。
--

③職域におけるがん検診について

○がん予防対策連携企業・団体の登録拡大及び活動推進

<p>令和2・3年度の実績及び今後の予定</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県と連携してがん予防対策に取り組む企業・団体と連携し、企業等の活動を支援することで、従業員やその家族の検診受診促進、ひいては県民の健康づくりの推進を図っている。令和4年1月末の登録数は28企業・団体。 ・ 名義後援、活動に関する相談等を行い、企業との活動を支援した。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同様の取組を今後も継続していく。

④ウイルス検査の受検率向上と陽性者への対応

○肝疾患診療連携ネットワーク等の強化

<p>令和2・3年度の実績及び今後の予定</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県肝炎対策協議会では、計画の改定、拡充された肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業、肝炎治療特別促進事業の取扱基準などについて協議した。

【今後の予定】

- ・ 新たに策定した第二次熊本県肝炎対策推進計画の周知を図るとともに、体制整備、肝炎ウイルス検査などの推進を図る。

適切な医療を受けられる体制を充実させる

(1) 診療機能の維持・向上

①がん医療提供体制について

○がん診療連携拠点病院の維持・向上

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

①国指定がん診療連携拠点病院

- ・ 令和2、3年度は、国指定がん診療連携拠点病院全7病院で更新は無し。現況報告書にて全7病院の指定要件の充足状況を確認し、がん診療連携拠点病院推薦検討委員会にて報告し、厚生労働省に現況報告書を提出した。

②熊本県指定がん診療連携拠点病院

- ・ 熊本市市民病院及びくまもと県北病院から熊本県指定がん診療連携拠点病院の新規申請があり、提出された現況報告書及び現地調査にて指定要件の充足を確認した。

がん診療連携拠点病院推薦検討委員会にて新規指定が了承されたことから、2医療機関を新規指定した。

- ・ 熊本県指定拠点病院のうち更新対象となっていた山鹿市民医療センター及び熊本南病院について、提出された現況報告書にて指定要件の充足を確認し、がん診療連携拠点病院推薦検討委員会において承認されたため、指定を更新した。

なお、その他の熊本県指定がん診療連携拠点病院においても、指定要件の充足が確認され、がん診療連携拠点病院推薦検討委員会にて報告した。

③がん診療施設の施設・設備整備

- ・ 令和2年度は、施設整備1施設、設備整備4施設について補助金を交付した。
令和3年度は、設備整備5施設に補助金を交付した。

【今後の予定】

- ①国のがん診療連携拠点病院の指定に関する検討会において、更新の可否について審議される。
- ②県指定がん診療連携拠点病院については、令和4年3月中に指定更新通知を発出する予定。
- ③同様の取組を今後も継続していく。

【参考資料】

《国指定がん診療連携拠点病院》

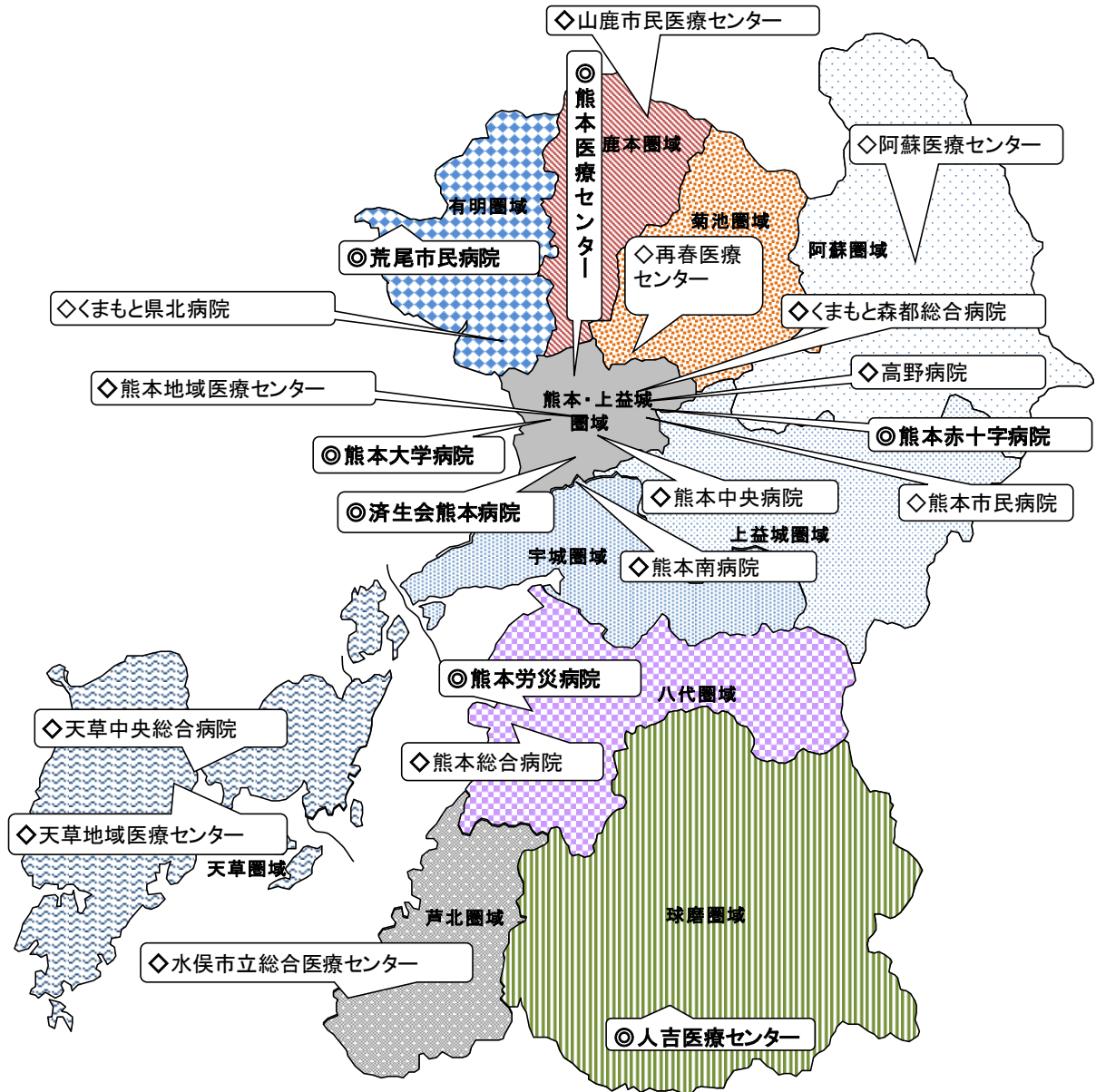
病 院 名	担当医療圏	更新・継続
＜都道府県がん診療連携拠点病院＞		
① 国立大学法人熊本大学病院	全域	継続
＜地域がん診療連携拠点病院＞		
②熊本赤十字病院	熊本、菊池、阿蘇	継続
③独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	熊本、鹿本	継続
④社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	熊本、宇城	継続
⑤荒尾市民病院	有明	継続
⑥独立行政法人労働者健康福祉機構 熊本労災病院	八代	継続
⑦独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	球磨	継続

《熊本県指定がん診療連携拠点病院》

病 院 名	担当医療圏
① 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	熊本
② 独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター	菊池
③独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	八代
④国保水俣市立総合医療センター	芦北
⑤一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター	天草
⑥独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院	天草
⑦一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター	熊本
⑧医療法人創起会 くまもと森都総合病院	熊本
⑨社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院	熊本
⑩山鹿市民医療センター	鹿本
⑪独立行政法人国立病院機構 熊本南病院	宇城
⑫阿蘇医療センター	阿蘇
⑬熊本市民病院	熊本
⑭地方独立行政法人 くまもと県北病院	有明

《熊本県内のがん診療連携拠点病院配置図》

令和3年12月現在



②がんの治療法（手術療法、放射線療法、薬物療法等）、チーム医療、病理診断、
がんのリハビリテーション）

○がんの治療法の周知啓発

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ がん治療法の最新情報（がんゲノム医療等）に関する講演会が、拠点病院やがん医療に携わる医療機関で開催され、県民に正しく周知啓発が行われた。

令和3年12月12日（日）

テーマ：暮らしを大切にするとがん医療に向けて

主催：熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○チーム医療の促進

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 全ての国指定及び熊本県指定がん診療連携拠点病院において、がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるようカンサーボードを設置し、月1回以上開催していることを確認した。（令和3年度現況報告書）

【今後の予定】

- ・ 引き続き、がん患者へのカンサーボード等を活用したチーム医療の実施状況を把握する。

○病理診断体制の充実

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ がん診療連携協議会がん診断部会による研修会の開催等により、県内の病理診断に係る専門的な知識を有する医師（病理専門医）の育成が進められており、病理専門医の数は、30名（令和2年11月時点）、29名（令和3年11月時点）である。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○がんのリハビリテーション体制の充実

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ リハビリテーション科専門医が配置されている拠点病院は3施設であり、県内の専門医は68人（令和4年2月末時点）であった。

【今後の予定】

- ・ 今後、がんのリハビリテーションに関する国の検討結果について拠点病院等に周知し、がんのリハビリテーション体制の充実を図る。

(2) 医科歯科連携の推進

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ がん治療における口腔内合併症の発生を抑え、患者の療養生活の質の維持向上を図るため、一般社団法人熊本県歯科医師会に委託して、拠点病院、歯科医師及び歯科衛生士等への研修を実施するなどし、医科歯科病診連携を図った。紹介患者数は、令和元年度より増加している。

【参考資料】 がん医科歯科連携状況（令和2年12月末現在）

- ・ がん医科歯科連携登録歯科医師 566人
- ・ がん医科歯科連携登録歯科医院 471施設
- ・ がん医科歯科連携病院数 23病院

《紹介患者数》

	術前口腔 ケア	化学療 法	頭頸部 放射線	BP 他薬 剤	緩和ケ ア	その他	合計
R2年度	1,628	850	247	45	35	177	2,982
R元年度	958	559	29	27	18	138	1,729

(3) がん登録

○がん登録データの精度向上

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 平成28年1月に「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、全ての病院と県が指定する診療所からのがん罹患情報の提出が義務化された。令和3年4月時点で、208の病院と59の指定診療所、計267医療機関が届出対象医療機関。

【今後の予定】

- ・ 引き続き、届出の多い診療所に対して、指定診療所登録への働きかけを行う。

○がん登録データの利活用

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 令和3年度は、令和4年3月に書面にてがん登録審議会を開催。本県におけるがんの罹患統計をまとめた「熊本県のがん登録」の作成に係るがん登録情報の提供申請の可否等について審議する。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

(1) がんと診断された時からの緩和ケア の推進

①緩和ケアの提供について

○緩和ケアの提供体制の向上

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

②「緩和ケア提供体制発展事業」の実施

- ・ 令和元年度～令和3年度の3年間、熊本大学病院への補助事業として、熊本大学病院緩和ケアセンターを中心とした拠点病院等の緩和ケアに携わる医療従事者の教育及び地域緩和ケア連携調整体制の整備等に要する費用を助成する緩和ケア提供体制発展事業を実施した。

主な内容は以下のとおり。

- ・ 緩和医療に携わる多施設、多職種による協議会の設置と運用
- ・ 緩和ケアチームによる実地研修の受入体制整備
- ・ 多職種からの緩和ケアに関する相談窓口の設置
- ・ 県内統一の緩和ケアスクリーニングシートの開発と運用
- ・ パネル展や新聞折込広告等を活用した緩和ケアの普及啓発

【今後の予定】

- ・ 引き続き、熊本大学病院緩和ケアセンターと連携し、県内における緩和医療を担う多施設・多職種の連携体制の強化及び普及啓発に取り組む。

○緩和ケアの普及・啓発の促進

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 平成26年7月から、緩和ケア部会が主体となり、県内の緩和ケアに携わる医療従事者を対象に、「熊本緩和ケアカンファレンス」を開催している。医療のみならず介護・福祉関係者にも参加いただけるよう、高齢者支援課の介護事業所メールマガジンや県ホームページを活用した周知を行い、令和2年度は4回実施、参加者は延べ422人であった。

<令和3年度テーマ> ※一部省略

- ・ 最近何かと耳にする“白血病”って何ですか！？（WEB開催）
- ・ 在宅における老衰死と緩和ケア（WEB開催）
- ・ 非がん患者の意思決定支援を、はじめから丁寧に（WEB開催） 等

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○在宅緩和ケアの推進

令和2・3年度の実績及び今後の予定
<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全てのがん診療連携拠点病院において、がん患者の退院時において、地域の在宅診療に携わる医師や訪問看護師等との退院前カンファレンスが実施されていることを確認。 ・ 国指定拠点病院においては、地域の医療機関等との情報共有、議論する場を年1回以上設けていることを確認。 ・ 県ホームページにて、在宅緩和ケアを行っている医療機関を検索することができる「熊本県緩和ケアマップ」を周知し、活用促進を図った。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同様の取組を今後も継続していく。

②緩和ケア研修について

○医療従事者への受講勧奨及び緩和ケア研修会受講体制の整備

令和2・3年度の実績及び今後の予定																																																								
<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緩和ケア部会において、各拠点病院の緩和ケア研修会修了者数及び受講率について報告するとともに、医師以外の医療従事者の受講勧奨を促進した。 <p>《修了者数》 (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>149</td> <td>174</td> <td>133</td> <td>169</td> <td>124</td> <td>134</td> <td>354</td> <td>301</td> <td>210</td> <td>160</td> <td>157</td> <td>59</td> <td>2,120</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>129</td> <td>159</td> <td>198</td> <td>246</td> <td>250</td> <td>205</td> <td>229</td> <td>185</td> <td>176</td> <td>151</td> <td>132</td> <td>28</td> <td>2,070</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>278</td> <td>333</td> <td>331</td> <td>415</td> <td>374</td> <td>339</td> <td>583</td> <td>486</td> <td>386</td> <td>311</td> <td>289</td> <td>87</td> <td>4,190</td> </tr> </tbody> </table> <p>《受講率》</p> <p>「1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師」のうち、緩和ケア研修会を受講した医師の割合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国指定拠点病院：87.5%（令和3年9月1日時点） ・ 県指定拠点病院：81.9%（令和3年9月1日時点） <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、同様の取組を今後も継続していく。 	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計	医師	149	174	133	169	124	134	354	301	210	160	157	59	2,120	その他	129	159	198	246	250	205	229	185	176	151	132	28	2,070	計	278	333	331	415	374	339	583	486	386	311	289	87	4,190
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計																																											
医師	149	174	133	169	124	134	354	301	210	160	157	59	2,120																																											
その他	129	159	198	246	250	205	229	185	176	151	132	28	2,070																																											
計	278	333	331	415	374	339	583	486	386	311	289	87	4,190																																											

(2) 相談支援

①がん相談支援センター

○がん相談支援センターの周知

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

①がん相談支援センターの相談件数

年次	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
件数	13,719	19,277	20,553	16,591	16,237	14,657	—	14,908

※年次は、1月1日から12月31日までの1年間。(出典：拠点病院現況報告書)

平成28年以降は、熊本地震の影響を受けた熊本市立熊本市市民病院の相談件数は含まない。

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響で現況報告の提出無し。

②「熊本県がん相談員サポートセンター」の設置

- ・ 県は、平成27年6月に熊本大学病院内に設置(事業推進員1名、事務職員1名の計2名を配置)。「がん専門相談員ワーキンググループ」(以下、「がん相談WG」という。)と連携し、主に以下の取組を実施している。
 - ・ 県内がん相談員の質の向上(研修会の実施)
 - ・ がん相談支援センターの周知啓発(熊本県版がん情報冊子の作成等)
 - ・ がん患者団体の支援(がんサロンネットワーク熊本の支援等)

③がん相談支援センターの広報・周知

- ・ 令和3年10月に、がん相談WGと連携し、従来の内容をより充実させた熊本県版がん情報冊子(第4版一部改訂)を12,000部作成し、がん診療連携拠点病院等に配布した。また、がん相談支援センターを紹介するポスター、チラシ、クリアファイル、カード等を作成し、関係機関へ配布した。

④図書館における出張がん相談等の実施

- ・ より多くの方に「がん」や「がん相談支援センター」を知ってもらうことを目的に、誰もが気軽に来館できる図書館で、個別相談等を実施した。個別相談者の多くは、普段、医療機関に足を運ぶことがなく、がん相談支援センターの存在を知らない方に対して周知することができた。毎月開催を予定しているが新型コロナウイルス感染症流行のため、中止することが多々あったものの、令和3年度は、くまもと新都心プラザ図書館で3回開催した。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○がん専門相談員の質の向上

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

熊本県がん専門相談員研修会の実施

- ・ 県内がん相談員（拠点病院以外の相談員を含む）への研修、拠点病院のがん専門相談員への研修を実施し、がん相談員の課題等の共有を図っている。令和3年度は2回実施した。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○認定がん医療ネットワークナビゲーターとの連携

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 一般社団法人日本癌治療学会は、拠点病院のがん相談支援業務を補完することを目的に、認定がん医療ネットワークナビゲーター制度に取り組んでおり、本県では、平成29年10月時点で8名だったナビゲーターが、令和4年2月末時点で65名（ナビゲーター：50名、シニアナビゲーター：15名）に増加した。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

②がんサロンの普及とピアサポートの充実

○がんサロン活動への支援

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ がん相談員サポートセンターのスタッフが、がんサロンネットワーク熊本の事務局支援等を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症流行の影響から、実施が難しいサロンも多くあるが、オンラインと対面を使い分け実施している。令和3年度は、31か所（うち1箇所休止中）でがんサロンが実施されている。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

○ピアサポートの充実

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

①がんピアおしゃべり相談室の実施

- ・ 平成24年度から、がん患者等が不安や迷いなどの気持ちを整理するきっかけの場として、がん経験者、病院及び行政の協働により、がん経験者による傾聴を主体とした「がんピアおしゃべり相談室」を実施している。現在のピアサポーター登録は6名。

②がんピアサポートセミナーの開催

- ・ がんサロン参加者のピアサポートに対する正しい理解を深め、実践力を養成することによって、県内がんサロンの普及・定着を促すとともに、がん患者等の交流を促すため、がんピアサポートセミナーを開催している。令和3年度は、令和3年7月と令和4年3月に開催予定。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

【参考資料】

がんおしゃべり相談室（個別面談、無料、予約不要）実施病院

- | |
|--------------------------------|
| ・ 熊本赤十字病院 がん相談支援センター内 ※現在開催休止中 |
|--------------------------------|

相談日：毎週水曜日、金曜日（受付：午後1時～午後3時30分）

- | |
|------------------------------------|
| ・ 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター がん相談支援センター内 |
|------------------------------------|

相談日：毎月第1火曜日（受付：午後1時～午後3時）

- | |
|----------------------|
| ・ 熊本大学病院 がん相談支援センター内 |
|----------------------|

相談日：毎月第3木曜日（受付：午後1時～午後3時）

※平成26年度、27年度は、熊本市民病院でも実施。

がんピアおしゃべり相談室実施状況（平成25年1月～）

利用件数 総計430件（令和3年度 11件 ※令和4年2月末時点）

実施病院	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	総計
熊本赤十字病院	11	31	49	34	33	65	49	42	—	—	314
熊本医療センター			8	7	8	13	10	17	—	2	65
熊本市民病院			12	6	—	—	—	—	—	—	18
熊大病院							10	13	1	2	26
駅前（森都心プラザ図書館）									—	7	7
合計	11	31	69	47	41	78	69	72	1	11	430

※熊本市民病院は熊本地震の影響により平成28年度は未開催。

※「-」は新型コロナウイルス感染症流行の影響で実施無し、または中止。

(3) 「私のカルテ」による地域との連携

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 平成22年度から熊本大学病院内に設置（平成22年度～27年度がん診療地域連携クリティカルパス支援事業でコーディネーター4名、事務職員1名の計5名、平成28年度からは、コーディネーター2名、事務職員1名の計3名を配置）。
- ・ がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会と連携し、「私のカルテ」、「私のノート」「私の日記」等に関する研修会、県民公開講座、技術的助言、相談対応、意見交換等を実施。

【今後の予定】

- ・ 引き続き、がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会と連携し、「私のカルテ」等の普及啓発や相談対応を行う。

【参考資料】

がん種	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (10月時点)
胃	148	149	121	167	142	134	85	48
大腸	195	226	188	167	222	258	221	130
肺	39	61	42	40	38	26	34	24
乳	118	178	132	156	199	251	230	98
肝臓	34	12	16	19	14	6	6	5
前立腺	139	114	48	156	157	180	168	135
婦人科	22	15	41	76	61	73	68	26
その他	20	6	12	9	10	7	7	3
計	715	761	600	790	843	935	819	469
継続利用割合	65%	66%	73%	59%	62%	68%	-	-

「私のカルテ」の年間導入件数及び継続利用割合

※年間導入件数は4月～翌年3月導入分

※継続利用割合は1月～12月導入分

※継続利用割合は利用停止分を除いた数（不明の数は未利用に含む）。

(4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題

①就労支援について

○就労支援体制の整備

令和2・3年度の取組実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ がん患者の早期離職防止のための「がん患者等就労支援リーフレット」を、拠点病院を中心に、がんサロンや熊本県産業保健総合支援センター、ハローワーク等へ配布した。

【今後の予定】

- ・ 引き続き、リーフレット等を活用した周知を継続するとともに、拠点病院に対しては、がんの診断時等、できる限り早期にがん患者の手元に届くよう配慮を呼びかけていく。

【参考資料】

【2021年度版がん患者等就労支援リーフレット】

がんを診断されても、すぐに仕事を辞めないで!

がんを診断された時に働いていた方の約70%は、同じ職場に復帰しています！仕事を辞めると決めてしまう前に、一度立ち止まって考えてみませんか？

- 1.まず治療について理解しましょう!**
 - ◆治療にどれくらい時間がかかるのか？
 - ◆これから受ける治療の副作用が、就労にもたらす影響は？
- 2.利用できる公的制度を確認しましょう!**
 - ◆高額療養費制度(治療費の支援)
限度額適用認定額を申請することで、医療費の窓口負担を限度額まで抑えられます。
 - ◆傷病手当金(収入の支援)
職場を休んだときに、療養中の生活保護として支給される制度です。
- 3.労働者としての権利を知っていますか?**
 - ◆就業規則
休職期間や、休職期間中の給与の条件など、確認してみましょう。
 - ◆健康保険上の制度
ご加入の健康保険独自の高額療養費制度や傷病手当の付加給付制度が設けられている場合があります。
- 4.職場に相談してみましょう!**
 - ◆現在の状態、当面の治療スケジュール
必要に応じて転職(産業医等)と医療機関の連携も可能です。
 - ◆仕事に関するご自身の希望
 - ◆職場で利用可能な福利厚生制度

熊本県・がん患者等就労支援ネットワーク企画

(表)

「がん相談支援センター」がある病院
がんに関する治療や医療費(公的制度)などの経済的なこと、お仕事に関することなど、がんに関する全般的な相談ができます。

熊本大学病院	096-373-5676	玉名市	くまもと東北病院	0968-73-5000	
熊本地域医療センター	096-353-3311	山鹿市	山鹿市民医療センター	0968-44-2165	
国立病院機構熊本医療センター	096-353-6501	宇城市	国立病院機構熊本病院	0964-32-0920	
大畑正門センター-高野病院	096-320-6500	八代市	熊本労安病院	0965-33-4151	
くまもと産科総合病院	096-354-6000		熊本総合病院	0965-32-7111	
熊本赤十字病院	096-384-2111	天草市	天草地域医療センター	0969-24-4111	
済生会熊本病院	096-241-0275		天草中央総合病院	0969-22-0011	
熊本中央病院	096-370-3111	人吉市	人吉医療センター	0966-22-2191	
熊本市民病院	096-365-1600	水俣市	国保水俣市立総合医療センター	0969-63-2101	
合田市	国立病院機構熊本医療センター	096-242-1000	阿蘇市	阿蘇医療センター	0967-34-0311
荒尾市	阿蘇市民病院	0968-63-1115			

ハローワーク(公共職業安定所)
就職や転職等、求職に関する相談ができます。

熊本	096-371-8609	天草	0969-22-8609
上益城(出張所)	096-282-0077	球磨	0966-24-8609
八代	0965-31-8609	宇城	0964-32-8609
菊池	0968-24-8609	阿蘇	0967-22-8609
玉名	0968-72-8609	水俣	0966-62-8609

熊本産業保健総合支援センター
治療と仕事の両立支援に関する相談ができます。また、県内では、7カ所に地域産業保健センターが設置されています。
熊本産業保健総合支援センター 096-353-5480

総合労働相談所(熊本県社会保険労務士会)
労働時間、休日、休暇など、労働問題全般に関する相談ができます。
※毎月第1・第3木曜日13:30~16:30(祝祭日除く)
総合労働相談所 096-324-1365

がんサロン・がんピアおしゃべり相談室
がん患者の方やそのご家族とお話することができます。金銭することで不安の緩和につながるかもしれません。県内には約30か所の「がんサロン」があります。
がんサロンに関する問合せ先 096-373-5558
がん相談員サポートセンター(熊本大学病院)
がん経験者(ピアサポーター)による「がんピアおしゃべり相談室」は以下の医療機関で実施しています。
※お問い合わせは以下の医療機関の「がん相談支援センター」で受け付けています。
◆熊本赤十字病院 ◆国立病院機構熊本医療センター ◆熊本大学病院

く問合せ先> 熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課企画・がん対策班 ☎096-333-2208

(裏)

○関係団体による就労支援

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【実績】

- ・ 令和3年度11月に熊本労働局主催の熊本県長期療養者就職支援担当者連絡協議にて、関係機関との円滑な連携による就職支援について、意見交換を行った。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

③ 就労以外の社会的な問題について

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【実績】

- ・ がんの予防やがん検診の受診に関する啓発とともに、地域や職場において、がんという病気やがん患者・経験者に対する理解が進むよう啓発に取り組んだ。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

(5) ライフステージ（小児、AYA世代、高齢者）に応じたがん対策

○小児がん治療の連携体制の構築

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 平成30年7月31日に「小児がん拠点病院等の整備に関する指針」が改定され、平成31年2月に15の小児がん拠点病院が指定された。九州・沖縄ブロックでは、九州大学病院が小児がん拠点病院に指定され、本県では、熊本大学病院と熊本医療センターが九州大学病院の連携病院となっている。

【今後の予定】

- ・ 引き続き、がん情報冊子等を活用した啓発を継続する。

○AYA世代のがん

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 将来子どもを産み育てることを望む若い世代のがん患者の経済的負担の軽減を図るとともに、患者が将来に希望をもってがん治療に取り組めるよう支援することを目的に「熊本県がん患者妊よう性温存治療費助成事業」（単県）を令和2年度から開始。年齢や所得等の要件を満たした方を対象に、妊よう性（※）温存に要する治療費を助成。

令和3年度からは、国庫補助事業が開始されたことに伴い、県要綱を改正（熊本県小児・AYA世代のがん患者等の妊よう性温存療法研究促進事業（国庫補助））。国庫補助事業では、県要綱に比べ、対象となる年齢や原疾患の治療内容等が拡充された。また、熊本県小児・AYA世代のがん患者等の妊よう性温存療法研究促進事業における指定医療機関として4つの医療機関を指定（令和4年1月末時点）した。

- ・ さらに、熊本大学病院に対し、妊娠を望む若い世代のがん患者で、がんの治療が妊よう性に悪影響を及ぼす可能性のある症例の治療前の把握及び適切な情報提供や地域とのネットワーク構築に要する経費の助成を行う「がん・生殖医療提供体制強化事業」を令和2年度から開始した。

※妊よう性：妊娠する力、あるいは妊娠を維持する力をいう。

《助成実績》 令和2年度（単県事業）治療分 3件

令和3年度（国庫補助）治療分 4件（令和4年1月末時点）

【今後の予定】

- ・ 引き続き、指定医療機関やがん診療連携拠点病院等と連携し、県民に対する妊よう性温存に係る周知啓発に取り組む。

○高齢者のがん

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【実績】

- ・ 国において策定予定の高齢者のがん診療に関する診療ガイドラインが示され次第、必要に応じて、拠点病院に情報提供を行う予定。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

(1) がんに関する知識の普及啓発

○緩和ケアについて

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 熊本大学病院緩和ケアセンターにおいて、県民への緩和ケアに関する普及啓発を目的に、熊本日日新聞の折り込み広告を用いた情報提供及び一般の方向けの緩和ケア冊子を作成いただいた。また、熊本県民交流会館パレアや下通アーケード等で、緩和ケアパネル展を実施した。

【今後の予定】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行状況をみながら、各種広告媒体を活用した周知啓発に取り組む。

○若い世代（大学生等）へのがん予防講演会（再掲）

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 大学生を対象に婦人科がんに関する講演会を開催した。適切な生活習慣の重要性とがん検診の啓発を実施した。

【今後の予定】

- ・ 同様の取組を今後も継続していく。

(2) 学校におけるがん教育

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 熊本県の令和3年度のがん教育実施率は、小学校99.7%、中学校100%、高等学校が100%、特別支援学校で73.9%であった。
- ・ がん教育を実施した学校のうち、外部講師を活用した学校の割合は、小学校10.3%、中学校4.3%、高等学校13.0%であった。
- ・ 令和3年6月28日～7月16日の期間に動画視聴形式で実施した健康教育担当者研修会において、がん教育についての説明を行い、その重要性を各学校に周知した。
- ・ 県では外部講師派遣リスト（外部講師の派遣が可能な団体の一覧）を更新し、毎年度県ホームページにて公開している。

【今後の予定】

- ・ 引き続き、外部講師派遣リストを更新し、県ホームページで公開する。

【参考資料】

外部講師派遣リスト団体数内訳

医療機関	市町村・保健所	患者団体
13	8	2

災害時におけるがん対策

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ 平成30年度に作成した災害時におけるがん診療情報共有の要領に基づき、災害時がん診療情報共有に係るシミュレーションを実施する際には、実施各拠点病院担当者及びがん相談員等に協力を依頼。

【今後の予定】

- ・ 令和4年度に拠点病院における災害時がん情報担当者の情報を整理し、拠点病院間で共有するとともに、災害が発生した場合を想定したシミュレーションを実施する。

その他のがん対策に関する動き

○がんゲノム医療について

令和2・3年度の実績及び今後の予定

【取組実績】

- ・ がんゲノム医療の中核となる「がんゲノム医療中核拠点病院」（全国12医療機関）が指定され、九州では九州大学病院が指定されている。
- ・ また、中核拠点病院と連携してがんゲノム医療を行う「がんゲノム医療連携病院」は、令和3年12月時点で、全国185医療機関が指定されており、本県では熊本大学病院及び済生会熊本病院が指定されている。

【今後の予定】

- ・ 引き続きがん診療連携拠点病院等に情報提供を行っていく。